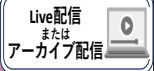


レアアース・レアメタルのサプライチェーンの動向と資源循環技術



●日 時：2026年11月4日(水) 13:00～16:30 ●聴講料：1名につき 49,500円（消費税込み、資料付）
●会 場：Zoomを使用したLive配信 【1社2名以上同時申込の場合のみ 1名につき44,000円（税込み）】
※アーカイブ配信は11/13～11/23に実施致します。〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。〕
講師: (株)DCTA 代表取締役 畠山 達彦 氏

【講演概要】
本講演では、レアアース・レアメタルのサプライチェーンの動向を整理したうえで、国内での回収・精製技術の確立という論点にフォーカスいたします。永久磁石からの希土類回収やリチウムイオン電池リサイクルなど、資源循環技術の到達点と現場での適用ポイントを整理し、あわせて国内外の事業化事例をご紹介します。
レアアース回収の実装上のボトルネックについても、実務者の目線でわかりやすくお伝えいたします。製造業の現場が明日から取り得る現実的な一手を、と一緒に考えてまいります。

【受講対象】
・化学・素材メーカー、電池・モーター・磁石メーカー
・リサイクル事業者・処理事業者
・材料調達リスク低減を検討されている方
・調達戦略・サプライチェーン管理を担当されている方
・経済安全保障対応に関わる方
・資源循環・重要鉱物関連ビジネスの担当者の方
・レアアース・レアメタル資源循環に関わる方

【受講後、習得できること】
・レアアース・レアメタルのサプライチェーン構造
・永久磁石向けの供給構造
・電池・半導体材料向けの調達状況
・規制の広がりや製造業の現場への影響のタイムライン
・国家備蓄・代替調達ルートの位置づけと限界
・使用済みモーター、電子機器、電池からの回収技術
・解体・選別現場の課題
・永久磁石からの希土類回収技術の比較と到達点
・リチウムイオン電池リサイクル技術の最新動向
・解体・選別技術の高度化
・ブラックマスの前処理・品質管理の実務
・国内外の研究開発動向と、技術成熟度レベルでの判断軸
・国内の都市鉱山事業化の事例
・海外のレアアース調達多元化の事例
・自動車・電機メーカーの取り組み事例、CLOMA・AEPW・RECEICを活用した国際連携プロジェクトの事例
・回収レアアースのコスト構造と市況変動の影響、製品回収スキームの設計、リサイクル材利用側との連携の進め方
・国内での回収・精製拠点づくりに向けた産官学連携、重要鉱物の国内循環を促す政策動向とフレンドショアリングの動き
・都市鉱山を「理念」ではなく「事業」として捉え直すための、具体的な視点

【プログラム】
1.はじめに：資源が「武器」になる時代の製造業
1.1 講師のリサイクル技術開発・静脈現場の経験紹介
1.2 特定国依存サプライチェーンの脆弱性
1.3 採掘地分散しても精製で特定国を経由するという構造
1.4 都市鉱山を、理念ではなく事業として捉え直す視点
2.レアアース・レアメタルのサプライチェーンを理解する
2.1 どこに、何が、どれだけ依存しているか
2.2 永久磁石向けの供給構造
2.3 電池材料、半導体材料向けレアメタルの調達状況
2.4 規制の広がりや製造業の現場への影響のタイムライン
2.5 国家備蓄、代替調達ルートの位置づけと限界
3.都市鉱山という選択肢：使用済み製品からの回収
3.1 使用済みモーター、電子機器、電池からの回収技術
3.2 解体・選別の現場で起きる課題
3.3 回収を成立させるための、静脈ルートの設計
3.4 回収から精製・再利用までをつなぐ難しさ
4.資源循環技術の紹介
4.1 永久磁石からの希土類回収技術の比較と到達点
4.2 リチウムイオン電池リサイクル技術の最新動向
4.3 解体・選別技術の高度化
4.4 触媒・電子部品からのレアメタル回収プロセス
4.5 ブラックマスの前処理と品質管理の実務
4.6 国内外の研究開発動向と技術成熟度レベルでの判断軸
5.事例紹介
5.1 国内の都市鉱山事業化の事例
5.2 海外のレアアース調達多元化の事例
5.3 自動車・電機メーカーの取り組み事例
5.4 CLOMA・AEPW・RECEICを活用した国際連携プロジェクトの事例
5.5 株式会社DCTAが関わるASEAN・インドネシアでのリサイクル実証事業の知見
6.事業化の壁：採算と仕組みづくり
6.1 回収レアアースのコスト構造と、市況変動の影響
6.2 回収量を確保するための、製品回収スキームの設計
6.3 リサイクル材を使う側(磁石・部品メーカー)との連携
6.4 重希土類フリー磁石等設計段階での依存低減
7.国内循環と国際連携：強靱なサプライチェーンへ
7.1 国内での回収・精製拠点づくりに向けた産官学連携
7.2 重要鉱物の国内循環を促す動向と、現場での活かし方
7.3 友好国との資源連携の動きと、企業の関わり方
8.まとめ：調達リスクを、循環で乗り越える
8.1 自社製品に含まれる重要鉱物をまず把握することから
8.2 回収・代替・備蓄を組み合わせた現実的なリスク低減策
【質疑応答】

講師紹介割引申込書

「レアアース・レアメタル資源循環」セミナー No.611421 11／4

- ・講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 〕			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			